

てんのおう

第 229 号

発行所
山口県周南市大字大河内
特別養護老人ホーム天王園
天王園デイサービスセンター
天王園在宅介護支援センター
グループホーム天王園

書初め大会

一月七日、食堂で催された書初め大会に大勢の方が参加されました。



た。習字クラブとしては、定期的に行なっていますが今回は、年明け初めての一筆ということもあり、皆さん少し緊張さみでした。お正月らしく、『賀正』や『初日の出』、干支の『羊』、また、今年一年の思い『健康』『平和』など、



筆を持つ手が真剣でした。今宮マサヨさんは、『この歳（九十九歳）になっても字を書くのは楽しいですよ』と、何枚も練習を重ねておられました。



一月二十八日の午後、ホールでお茶会の催しがありました。ホールに流れる琴の調べが、よりいっそう初春の雰囲気を感じました。まずは老舗のお菓子屋さんの和菓子（えくぼ）に舌鼓。そして、



お抹茶の香りを楽しみながら戴かれていました。作法にはこだわらないこともあり、静寂の中にも和やかなムードでオシャベリも弾んでいました。田中カネ子さんは『これで今年も元気で過ぐせますよ』と、笑顔でした。

話題

☆一月七日の朝食は、七草粥を戴かれました。(セリ・ナスナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ)の春の七草がたっぷり。皆さん、これで疲れた胃も休めたし、無事で長生きできそうですと話されていました。
☆一月九日、当園ではひと足早く鏡開きを行いました。利用者さんが見守る中、岩崎園長が、硬くなったお供え餅を小餅へと切り分けました。さっそく、ぜんざいとしてお昼のお膳を飾りました。
☆一月二十日、中庭でどんど焼きを行ないました。各部署から持ち寄った門松や正月飾りをやぐらに組んで、羊年の藤井スッエさんが代表で火付けをされました。

グループホーム

皆さんで、昨年末にミニ門松を作りました。細かい手作業で大変だったようですが、職員といっしょに個性のある作品が完成。ステキなお正月を迎えることが出来



ました。また、一月七日には遠石八幡宮に出掛けました。皆さんそ

れぞれに願いを込めて手を合わせてもらいました。

デイサービス

一月五日より、業務がスタートしました。新年の行事として、利用者さんからの希望でもある初詣を行ないました。行き先は、三丘



俳句・短歌

◆湯の宿にゆけむり立つ卿見下ろして
しばし思えり亡き夫のこと
金子タツ子

◆羊年生かされる道ありがとう
藤井スミエ

◆兄の背で弟眠る重たそう

宗森クマ子

◆一日中立っても座っても風の音

デイサービス・山田喜美子

◆梅の木に固きつばみも春を待つ

暦は立春なれど厳冬
デイサービス・野村トシ

にある出雲大社に大勢の方が参拝されました。その他にも、お正月にふさわしい福笑いやスゴロク、カルタなどの趣向をこらしたゲームで盛況でした。

シヨートステイ

利用される方々を獅子舞でお出迎え。突然の出来事に皆さん、ビックリするも、おどけた獅子に大爆笑でした。中尾吉榮さんは「大いに笑ったので、今年は良い事がありますよ」とニコニコでした。



2月誕生日の方々

- ☆瀬下 幸子 様 : 八十九歳
- ☆田中ミツコ 様 : 百 歳
- ☆中村美代子 様 : 八十七歳

皆さんおめでとうございませう！

- ☆守政智佐子 様 : 八十三歳
- ☆田村 廣一 様 : 七十八歳
- ☆浅原 里枝 様 : 九十六歳
- ☆有海 茂 様 : 八十二歳

医務室からの

お知らせ

周南市内でも、インフルエンザが流行しています。特徴的な症状としては、急に寒気がする、全身がだるい、筋肉や関節が痛む、頭痛がする、セキが出るなどがあります。風邪かなと思つた時は早め早めの受診をおすすめします。まずは、手洗い、うがいをしっかりとして予防に努めましょう。

編集後記

お正月気分もアツという間に過ぎ、一月三日は節分、四日は立春です。暦の上では春を迎えますが、まだまだ、寒い日が続きますので『食事』『水分』『睡眠』をしっかりと摂って、一回元気でこの冬を乗り切りましょう。